

【ともに考えよう！私たちの未来！！】

宮津市議会議員 坂 根 栄 六

～ 3 期目の通知簿～

発行・編集：みらいを考える会
発行日：2022.5.15
〒629-2251 宮津市須津 1709-1
TEL 0772-46-2863
e-mail eiroku.sakane@gmail.com



この4年間で振り返ると、何かと思ふようにはいかない大変心労の多い4年間であったように思います。

西日本豪雨災害をはじめ度重なる台風災害や新型コロナウイルス感染症、宮津与謝クリーンセンターの公害防止基準値超過と次から次へと災難・有事が続く、議員として何ができるのか、国・府・市の連携を活かし、どのようにすれば市民の皆様の役に立てるのか、パフォーマンスではなく、実のあるものにするために今自分ができることは何かを考え対応してまいりました。

国政・府政選挙においても中島府議会議員を先頭に蒼風会の長本幹事長と共に「縁の下での力持ち」となって支え活動してきました。

そして、これまで主張してきたえいらくビジョンの人財還流システムがさらに前進することになり、自分自身も地域振興に寄与する為に起業しました。

至らぬ点は多々あるかと思いますが、3期目の通知簿として賛否のご評価をしていただき、ご意見・叱咤激励をいただければと存じます。

国道178号の強靱化に向けて 着実に前進

西日本豪雨災害後、再び国道が分断され集落が孤立しないように中島府議、城崎市長と相談、伊根町議会と調整し歩道を合わせ、京都府丹後土木事務所長に国道178号線（日置・養老間）の強靱化の要望書を提出しました。その後、期成同盟会が発足し、中島府議のご尽力により、抜本的な対策となる話が進展しています。今後、工事着手の折には、強靱化予算の確保に本田代議士の出番となります。国・府・市の連携が実を結ぶ一例となりそうです。



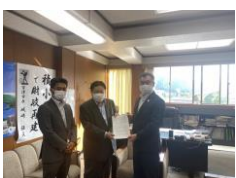
宮津与謝クリーンセンターにおける 公害防止基準値超過の再発防止へ

与謝野町と伊根町の組合議員の皆様のご協力をいただき、宮津与謝環境組合議会にて、2度にわたる公害防止基準値超過に対し、「今回の公害防止基準値超過の原因を徹底究明の上、検証・分析し、再発防止策の確立と運営事業者への監視の強化を図ること」を要望しました。専門家の厳しいチェックと改善対策を実施していただき対応いただいています。

新型コロナウイルスの経済対策と 地域振興の要望書の取りまとめ

新型コロナウイルス感染症の影響により当地域も多大な経済損失を受けています。この有事に対し、経済団体と意見交換し、産業建設福祉委員会と協議、委員長として要望事項を取りまとめ、国には「粗利補償をはじめ給付金等の早期支給や雇用調整助成金の延長など事業継続・雇用対策、収束後の観光需要喚起策や消費刺激策等を求める意見書」、府には「観光の需要回復対策への財政支援や感染防止対策、事業再構築・生産性向上・デジタル化等施策の積極的な展開を求める等の要望書」、それに基き市には「観光需要喚起策として京都縦貫自動車道の無料化または割引、国の交付金等を活用した支援事業等強力な観光支援施策を府へ働きかけをする要望書」を提出し、高付加価値化の事業が動き出しました。

また、老朽化している北部医療センターの整備はもとより今後必要とされる機能の拡充整備、丹後郷土資料館の早期リニューアル整備、大学入学共通テストの丹後会場の設置等府への要望を議会として機関決定することができ、市長と議長とで要望活動ができました。私の在籍中では初めてのことで、議員の皆様方のご協力に感謝です。



（意見交換）

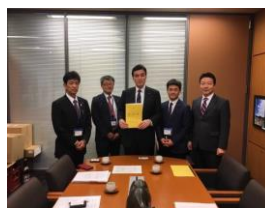
（府へ要望）

（市へ要望）

国八要望活動

蒼風会で宮津市が抱える課題解決に向けて、本田代議士を通じ自民党国会議員の先生方へ国道178号線の強靱化に係る緊急自然災害防止対策事業債の継続や新過疎対策法の制定、公共施設の除却経費の対象拡大、地方創生の予算確保等10項目を陳情しました。

本田代議士には、公共交通空白地有償運送に係る補助要件の緩和や車両導入の補助要件の緩和に御尽力いただきました。市の財政負担軽減や円滑な事業実施に寄与できたものと思います。



(陳情の様子)



(国土交通省へ)

知事訪問&府政勉強会

中島府議を先頭に1市2町の議員有志で京都府知事へ挨拶を始めることができ、関係づくりをしています。今までできていなかったことがまた一つできるようになりました。



(知事訪問)



西田・本田・中島・西脇選挙

西田昌司参議院議員・本田太郎衆議院議員・中島たけふみ京都府議会議員・西脇隆俊京都府知事の選挙を裏方に徹し、縁の下の力持ちで支えました。



(西田参議院議員)



(本田衆議院議員)



(西脇京都府知事)



(中島京都府議会議員)

えいろうくビジョン実現へ前進

『高齢者の安心と若者が定住できるまちづくり』をテーマに掲げて取り組んできたこの4年間の成果です。

『高齢者の安心』では、高齢者等の交通手段の確保に向けて公共交通空白地有償運送に係る補助要件の緩和を国に要望活動をしたり、シニアカートの補助制度の創設を求めています。宮津市地域公共交通計画にてグリーンスローモビリティ(電動車)を活用したラストワンマイル対策の検討を計画に盛り込んでいただいています。

『若者が定住できるまちづくり』では、宮津市総合計画の重点項目「若者が住みたいまちづくりプロジェクト」

の中で、えいろうくビジョンを理解してきるところから実施していただいています。えいろうくビジョンとは、高校卒業後の進学などによる若者の「人財流出のまち」から「人財養成ができるまち」へ変えることで、学費等生活負担を軽減させると共に地元の人財を還流・定着させ持続可能なまちになるよう社会構造を変えていくものです。

具体的には、大学等のサテライトキャンパスの拠点づくり、IT関連企業のサテライトオフィス誘致、インターネットによる起業・就職・産業への結び付け、郷土愛醸成と教育のプロモーションで選ばれるまちにすること。

城崎市長のご尽力により返還免除の奨学金の創設をはじめ前尾記念クロスワークセンターMIYAZUができ、IT関連をはじめ7つの企業と2つの高等教育機関(京都府立大学・大和学園)のサテライトオフィスの誘致が実現することになりました。大学と企業がコラボし若者の定着等今後の展開が楽しみです。



【他の議会質問】
就職氷河期世代への支援(ひきこもり・8050問題)、児童虐待と再犯防止、ワクチン接種データとハラスメント、温泉まちづくり、北部連携都市圏のリダンダンシー、地域創生など

龍馬プロジェクト全国会

全国から今の日本を憂う超党派の志ある首長や議員等の仲間と共に情報交換や研修を通し情報収集をしています。世界の仕組みや日本の正しい歴史を知ることにより物事の本質や隠された事実が見えるようになります。

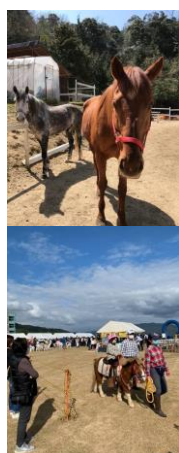
そこで神谷会長が『参政党』を立上げ国民の眠りを覚ます大和魂の活動を始めています。是非、ご注目ください。



(須津消防署前交差点、月2回第2第4日、朝の挨拶9年)

乗馬の事業を始めました

議会では市政のチェックや提案・要望活動をしませんが、それだけではなく地域の為に自ら主体的に実践行動し、次世代に何をしてあげられるか背中で示し希望を見せてあげたいと考えています。『夢と志』、実践あるのみ。乗馬という得意ツールを活かし、教育(情操・体幹)×福祉(ホースセラピー)×観光(ホーストレッキング)×地域振興(イベント・魅力づくり)に取り組んでいます。



(島崎公園での乗馬体験)